

さうすりんぐ Tokushima

11月・12月
合併号
Take Free

さうすりんぐTokushimaは、徳島外環状道路のうち、国府町観音寺から八万町大野まで9.5kmの「徳島南環状道路」の工事概要とエリアの情報をおとけする情報誌です。



彫刻の小径登り口

懐かしい心の風景① 文化の森総合公園界隈

彫刻の小径を歩き、 風と一緒に心の休日を愉しむ。



「四国三郎」(1990 速水史朗)



「四角いかたちD」(1989 山田牧生)



「かけらたち(大地のなかま)」(1991 道北英治)



園瀬川と文化の森総合公園

野山が錦秋の装いに染まる頃は、落ち葉の道を散策するのが心地良い。晴天の澄きった空気の中を、昨日までの自分が洗い流されていくようで、カラカラと散る落ち葉に身を任せてみる。

車で市内から国道55号を南へ、園瀬川の堤防を西に15分ほど走れば、文化の森総合公園がある。私のお気に入りの一つになっている。休日にもかかわらず、今日は意外と人が少ない。車を止めて、文書館で開催されている「戦後60年のメッセージ～伝えたいあの時を～」を見学。当時はまだ生まれてはいないものの、セピア色の写真に幼い子供の頃の自分を見たような気持ちにさせられた。季節がそうさせるのか、久しく音信のなかった友の手紙が、そうさせるのか。なにはともあれ、彼の新しいチャレンジを祝ってやろう。

帰りの道は、時間もたっぷりあることだから、「彫刻の小径」を歩こう。しばらく外周の園路を進み、階段を下っていく。成就した2005年に未練を残さず、きっぱりと別れを告げていくようにムクノキが盛んに葉を落としている。苔むした道の一角にさりげなく置かれた山田牧生作、「四角いかたちD」

は黒御影石にベンガラが塗られ、凸凹ながら丸みを帯びた石肌は妖艶さが感じさせられる。突然、樹木の中の道北英治作、「かけらたち(大地のなかま)」に出会う。大きく手を広げ、この胸に飛び込んでおいでよ、呼びかけている。頬を過ぎる風も、童謡を歌っている。

階段を下り、陽光にケヤキの葉が青空とコントラストを競うように、赤色に染めていく歩道に、どっしりとした速水史朗作、「四国三郎」がお疲れと迎えてくれた。吉野川の清流の優しさと、時々見せる荒々しさを、向い合い支え合って生きていく男女の姿に投影させているのだろうか。企画展の余韻がこのような感じ方をさせているのだろうか。作者の意図とは多分違うのだろうが、その日その時間で感じ方が変わることがあってもいいと納得させ、心の休日を愉しんでいる。

ここには、喧騒を感じさせない時間があり、季節の移ろいがある。建物も空気も、全部がアートの世界にもなり、心にたっぷりの栄養を与えてくれる。

時間があれば、なんとなく足が向いてくる所である。

徳島県文化の森総合公園(彫刻の小径)案内図



<p>文化の森総合公園 11月・12月 催し物案内</p> <p>文化の森/主催事業</p>	<p>二十一世紀館 土曜映画会(無料) 「龍門秘帖」 ●11/12(土)14:00～ ■イベントホール(先着250人) 「カラパール」 ●12/10(土)14:00～ ■ミニシアター(先着50人)</p> <p>図書館 おはなし会(無料) ●11/10(木)15:30～16:00 ■おはなしのへや</p>	<p>近代美術館 特別展(有料) コレクションαで楽しむシリーズ:文学[美術を<よむ>] ●11/12(土)～12/18(日) ■展示室3</p> <p>こども鑑賞クラブ(無料) 「徳島のコレクション2005」 ●11/19(土)14:00～14:45 ●12/17(土)14:00～14:45 ■展示室3</p>	<p>博物館 常設展「徳島の自然と歴史」(有料) ■常設展示 部門展示「博物館の誕生」(有料) ■部門展示 ●11/1(火)～1/15(日)</p> <p>文書館 第29回資料紹介展「写真で見る失われた徳島の風景 一城下町徳島」(無料) ●11/1(火)～1/29(日) ■展示室</p>
---	---	--	--

郵便はがき

770-8703

料金受取人払
徳島中央局
承認
400

差し出し有効期間
平成19年11月1日
まで(切手不要)

徳島南環状道路を語る。第2回
この道に、この人。

徳島南環状道路犬山改良工事工区の近くにお住いで、長年農業をされてきた長田堰水利組合長 後藤実さんに登場していただきました。

文化の森の自然環境と、川の流れを抑制する堰の重要さを、今一度考えておかなければならないと思います。

文化の森は延生軒といわれ、園瀬川の清流を抱き、遠く紀淡の山々や眉山を望み、春は桜が咲き乱れ、秋は楓が紅に山を染める風光明媚な地で、蜂須賀公が産業を興し、家老の別荘があり名勝の地でした。八万町も都市化で農家が少なくなってきましたが、農業に大切なものは、園瀬川のきれいな水です。この水を守るために、過去に築かれた長田堰を昭和48年に改修しました。洪水を抑制し、海からの塩害を阻止し、約600町歩の農業用水ばかりでなく、このあたり一帯の治水に役立っています。また長田堰巻きまわしと呼ばれる州は、自然が作り出した流れを調整する弁のような役割をもったもので、遊水地帯として残しておかなければならないものです。自然の作用

を上手に活かした先人の叡智を継承することも、農業を営む者にとって大切なことなのです。

環状道路の建設で、星河内川が一部付け替えになるようですが、地域の人々の安心と安全な暮らしを考えて、長田堰を壊すことなく工事をすすめていただきたいものです。また豊かな清流に恵まれた園瀬川も、現在失われつつある植物、鳥類、魚類や微生物等を守り、環境保全を図り、塩水の侵入を断ち、自然と共生できる工事を進めていただきたいと願うものです。

新しい道路ができ、川が整備されて自然の清流で遊べるようになれば、もっと素晴らしい所になれるのかなと、おっしゃってられました。

長田堰水利組合長
後藤 実 (ごとう みのる)

プロフィール
●生年月日/大正14年6月20日
●趣味/農業
●血液型/O型

●いつまでも「星雲の志」を持たれ、地域の農業振興に活躍されておられます。

徳島県徳島市上吉野町3丁目35

国土交通省四国地方整備局
徳島河川国道事務所
さうすりんぐ Tokushima 係 行

フリガナ

お名前 (歳)

ご住所 〒

電話 () -

※お客様の個人情報は、第三者に提供することはありません。

こんな仕事やっています。

工事中は、通行止めや迂回路の通行など、何かとご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひいたします。



【犬山改良工事編】

道路は、すぐには造れない。
さまざまな工程を経ながら、1歩1歩、着実に
地道な工程を積み重ねて、安全で快適な
道路が完成するのです。

犬山改良工事では、今このような工事を実施しています。



本線の側道を造るための基礎工事が、現在進行しています。

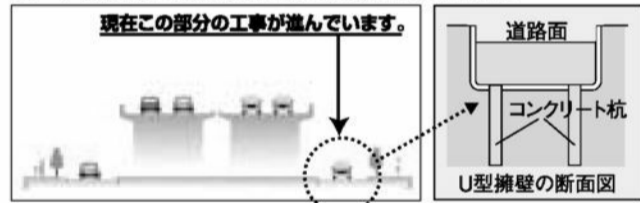
JR文化の森駅から、南へ園瀬川の鉄橋を越えた犬山地区は、本線の工事は、少し先になりますので、まず本線の両サイドに側道をつくる工事を行なっています。このあたりは園瀬川の氾濫で堆積した柔らかい土砂の層で、直接この土の上に道路を造れば長い年月で歪みがでる可能性があるために、地面の強化工事に入ります。

それは、地中にコンクリートの杭を岩盤まで打ちこみ固定させ、この杭の上に道路にするU型のコンクリート擁壁を設置するという工程です。現在、コンクリート杭を打ち込む作業を実施しています。



ピンで杭打機に固定

クレーンで杭を吊り上げ、杭打機に取りつける。杭の重量は1本2.5t



現在この部分の工事が進んでいます。

道路面
コンクリート杭
U型擁壁の断面図

どうやって、コンクリートの杭を打ちこむの？

コンクリートの杭は、直径50cm長さ9mと10mの2種類があり、岩盤までの距離によってこれを現場で溶接し、繋ぎ合わせ18m用19m用に加工します。

キャタピラーの付いたクレーン車で穴を掘る大型工具(スパイラルオーガ=螺旋状になった大きなキリのようなもの)とコンクリート杭を吊り上げ、杭打機(3点式コンクリート杭打機)に取り付け、ピンで固定します。そして、穴の位置にセット。スパイラルオーガがモーターで回り、地面を掘り進んでいくと同時に杭も打ち込まれていきます。杭の内部には圧搾空気が送りこまれ、土砂は螺旋状の溝に乗って巻き上げられ、この空気の圧力で外に放出されるのです。1本目の杭打が終了すると2本目を溶接で繋ぎ合わせキズが無いかをチェックし、さらにこの工程を進めていきます。最終段階では、セメントミルク(セメントと水を混ぜた物)が流しこまれ杭の先端を岩盤に固定させています。



スパイラルオーガの先は、硬質の歯。外側の2枚が広がって、土を掻く



杭は強い力で打ち込まれていく



2箇所から、トランシットで垂直のチェック

60本の杭打ちが完成後、U型擁壁を設置し
コンクリート構造物工事が終了します。

長さ102m幅5.25mの側道建設用工事区間に、2列に60本の杭を打ち込みます。この工事が終了すれば、U型擁壁の設置にかかります。打ち込まれたコンクリート杭の上部とU型擁壁の下部をコンクリートで固定し、12月下旬には、側道のコンクリート構造物が完成します。その後、アスファルト舗装を経て、区間の工事は終了します。道路全体の完成にはまだまだ時間が必要ですが、段階的に工事完成箇所が繋がっていくことで、徐々に全貌が見え始め、開通の期待がもたれるものです。



2本目を溶接



コンクリートミキサー、水槽、ポンプのプラント



赤松土建(株)のメンバー

藤原孝裕さん

山口真市郎さん

勝浦秀晴さん

杭打ち工事は、地下水との戦いでもあります。

堅い岩盤に突き当たったり、地下水が湧き出て来たりと、掘り進んでいく内には、色々なことがあります。ここは園瀬川の伏流水がありますから、土砂についても粘土質や、水を多く含んだ土で、時には水浸しになり、排水のために工事がストップすることもしばしば起こります。悪戦苦闘しながらも、しっかりと補強することで、安全な道路が出来るのです。

10月	11月	12月	1月	2月	3月
杭打ち(U型擁壁)	U型擁壁				
			工期12月26日		

アンケートにお応えください

- 徳島南環状道路を知っていますか？
a. よく知っている b. 聞いたことはあるが、あまり知らない
c. 知らない d. わかってきた
- 徳島南環状道路で、知りたいことがありましたら、ご記入ください。
.....
.....
.....
- 道路建設工事について、どんなイメージを持たれていますか？
a. 都市開発の重要な仕事 b. 3Kの仕事
c. 自然環境破壊の仕事
- 本誌の内容について、ご意見、ご感想をお聞かせください。
a. よかった b. 悪かった c. どちらとも思わない
- さうずりんぐTokushimaをどこで入手しましたか？
a. 新聞折込 b. 道の駅 c. その他()

徳島南環状道路

頑張る男の仕事場訪問 第2回

道路づくりに情熱をもって取り組んでいる人を訪ねます。夢は大きく、常にチャレンジ精神旺盛に仕事を進めておられます。

朝早く現場に来て、今日の段取りをチェックします。現場が動き出す前の、ゆっくりと考える自分の時間を大切にしています。

園瀬川の鉄橋を越えた工区は杭打ち工事が終わり、U型擁壁の設置工事にかかっています。JR牟岐線に隣接した工事ですから、列車運行に支障のないように、列車通過時は一旦工事を中止し、通過後に工事を再開しています。また出来るだけ土埃を立てないように散水するなど、迷惑をかけないように心掛けています。地元の方々の理解と協力がなければ、スムーズに仕事は進みませんからね。厳しい仕事ですが、携わった道路を通る

時「この道路は俺が造ったんだと、嬉しくなります。これが仕事冥利と言うのでしょうか。」(笑)
最初は何も知らなかったのですが、いい先輩に出会い、一から厳しく教えていただきました。仕事の段取り、チームの進め方など色んなことを学びました。この先輩との出会いが僕の財産です。これからも地域のためになる色々な仕事にチャレンジしていきたいと、仕事に前向きな山口さんです。



赤松土建株式会社
山口 真市郎(やまぐち しんいちろう)

プロフィール
生年月日/昭和52年3月2日
趣味/スノーボード スキー
血液型/A型
●やる時はしっかりやる。出来ることはさっさとやる。これをモットーとしています。

皆様のご意見をお待ちしています。

アンケートにお応えいただいた方の中から、抽選で5名さまに全国の高速道路と国道の通行時間がわかる「道路時刻表」をプレゼントいたします。

■応募方法

あなたのご意見を、右のアンケートはがきにご記入の上、12月15日(木)必着でポストに投函してください。(官製はがきFAX、メールでも応募可) 当選発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。※この情報誌は、徳島県内の道の駅にも置いています。

FAX088-654-9164 Eメール:tokusa41@skr.mlit.go.jp

のぞいてみよう法花トンネル(仮称)

法花トンネル工事 現場見学会のご案内

- ・と き/平成17年12月4日(日) 10:00~11:00(小雨決行)
- ・集合場所/園瀬川親水広場
- ・定 員/先着100名様。なお、小学生参加の場合は、父兄同伴をお願いいたします。
- ・申し込み/本誌のアンケートはがきをご利用下さい。参加決定者には後日連絡いたします。

■お詫びと訂正
10月号でご紹介しました(株)岡田組の宮本さんの名字が間違っていました。正しくは武市さんです。訂正してお詫びいたします。

●本誌に関するお問い合わせは



国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所
「さうずりんぐTokushima」

徳島県徳島市上吉野町3丁目35 TEL(088)654-9162 FAX(088)654-9164
http://www.toku-mlit.go.jp Eメール:tokusa41@skr.mlit.go.jp

法花トンネル
見学会に

参加する

参加しない